

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
350005	X-21-B-2-350005	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択	2年
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	2年
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択	2年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	2年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
現代東南アジア論	瀬戸 裕之			【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

授業目的

東南アジアは、歴史的にも経済的にも日本と深いつながりを有している地域である。本講義では、東南アジアでの国家形成、冷戦、地域統合、民主化の動きをみることにより、東南アジア地域が抱えてきた課題と今後の展望を学び、東南アジアと日本の関係について理解することを目的とします。

各回毎の授業内容

第1回

【授】はじめに-東南アジアをみる視点
【前・後】【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。

第2回

【授】東南アジアの多様性
【前・後】【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。

第3回

【授】東南アジアの土着国家
【前・後】【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。

第4回

【授】東南アジアにおける植民地形成
【前・後】【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。

第5回

【授】植民地下での社会変容
【前・後】【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。

第6回

【授】東南アジア諸国の独立
【前・後】【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。

第7回

【授】東南アジアでの冷戦と戦争
【前・後】【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。

第8回

【授】冷戦下における地域紛争
【前・後】【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。

第9回

【授】開発主義国家の形成
【前・後】【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。

第10回

【授】民主化の進展と課題
【前・後】【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。

第11回

【授】ASEANの形成
【前・後】【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。

第12回

【授】ASEANの拡大
【前・後】【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。

第13回

【授】地域経済統合と開発
【前・後】【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。

第14回

【授】東南アジアが抱える課題
【前・後】【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。

第15回

【授】日本と東南アジア
【前・後】【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。

第16回

【授】期末試験
【前・後】【必要な時間4時間】これまでの授業内容を復習しておく。

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験	40	30					70
小テスト・授業内レポート	20	10					30
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

評価は、中間テスト(30%)と期末テスト(70%)によって行われる。出席はとらないが、単位を取得したい学生は、必ず中間テストを受験しなければならない。中間テストは、実施後に、問題の要点と回答について受験者に説明する。

教科書参考書

指定しない。参考すべき図書は、授業中に紹介する。

受講に当たっての留意事項

受講する学生は、各自でノートを持参すること。

学習到達目標

①東南アジアでの国家形成の歴史を理解すること。②冷戦、地域統合、グローバル化などの世界の動きの中で東南アジアの変化を理解すること。③東南アジアの経済発展の中で抱える課題(民主化など)を理解すること。④日本と東南アジアの関係について理解すること。

JABEE

【授】: 授業内容 【前・後】: 事前・事後学習